



岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは

「フードストアソリューションフェアの報告」

みなさん、こんにちは。

社団法人日本農業法人協会サポート会員の岐阜米穀です。

フードストアソリューションズフェア 2026 に出展しました。

開会式では西日本地区の量販店の会長、社長などの経営者の方々が参加されました。

カノー、関西フードマーケット、近商ストア、コノミヤ、丸久、マルミヤストア、マルヨシセンター、丸合、マルヨシセンター、オークワ、サニーマート、エレナ、ライフコーポレーション、コープこうべ、天満屋ストア、サンシャインチェーン本部、フジ、ハローデイ、イズミ、エブリイ・・・ヤマエ久野、日本アクセス、農林水産省の局長も登壇されました。

今回は米騒動真っ只中で「量販店が主導する米流通」を展示いたしました。

お米パニックのきっかけは温暖化ですが、半世紀以上変わらない硬直した米政策が、混乱を増幅させたのではないのでしょうか。

米価格の乱高下の原因は、小泉前農林大臣が備蓄米を出し過ぎた、と悪者のような風潮を耳にすることもあります。備蓄米放出で97%を購入した全農が抱えてしまったことが要因でした。

食べる方々の為、米の信頼を回復する為にも、お米の販売量（取扱い量）の50%を超える量販が動き出し、食料パニックに備える米仕入ルートが多チャンネルにする提案です。

日本の米生産量の50%を5%の米生産農業法人が作っており、大型生産法人と量販が直接つながり、主役になることが重要になってきたのです。

今年の過剰な年に、優良産地をおさえてしまうよう動いてみませんか。

社団法人日本農業法人協会サポート会員の岐阜米穀は、12月5日（土）には米・食味分析鑑定コンクールの会場で、大型農業法人と量販のマッチング商談会を開催いたします。

また、岐阜米穀ではお米の消費拡大で、米売場で選べる品揃え商品をご提案しております。

米売り場は価格と銘柄だけに頼りがちですが、温暖化で美味しい産地が変わっていく中、お米の購買の動機が変わってきています。『ご飯を楽しむ』品揃えをはじめませんか。

玄米食専用の米、雑穀と白米が混ざった米、世界の炊き込みごはんを家庭内で簡単に出来るお米など・・・楽しい、面白い品揃えです。

米売り場の上段を面白い2kgシリーズにして、お客様の米売場への来店頻度をあげられます。

オートミールでは100円シリーズが発売以来、人気が拡大しております。

米市場の期待に応えられる商品展開をしていきますので、資料ご希望の方はご連絡いただけないでしょうか。

◇◇◆

岐阜米穀株式会社（社団法人日本農業法人協会サポート会員）
岐阜県岐阜市香取町3丁目38番地
TEL 058-252-1801 FAX 058-252-2419
お問い合わせ：info@beikoku.jp

◆◇◇
